

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1. 五類定点疾患週報情報

令和7年第49週(令和7年12月1日～12月7日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1		No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI)※2	7,615	81.01	—	➡	11	突発性発しん	6	0.11	0.24	
2	インフルエンザ※3	3,337	35.50	9.99	➡	12	ヘルパンギーナ	3	0.05	0.23	
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	95	1.01	—	➡	13	流行性耳下腺炎	2	0.04	0.02	
4	RSウイルス感染症	62	1.09	0.22	➡	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	26	0.46	1.14	↗	15	流行性角結膜炎	20	1.05	0.71	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	161	2.82	1.43	↗	16	細菌性髓膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	178	3.12	4.56	↙	17	無菌性髓膜炎	0	0.00	0.01	
8	水痘	6	0.11	0.15	↙	18	マイコプラズマ肺炎	24	1.20	0.57	↙
9	手足口病	7	0.12	0.90	↙	19	クラミジア肺炎※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	27	0.47	0.01	➡	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点(内科)	ARI定点(小児科)	眼科定点	基幹定点	急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20	増減	↗	↖	1 : 1.5～2 の増減
定点数	37	57	19	20	微増減	↗	↙	1 : 1.1～1.5 の増減

発生記号(前週と比較)

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↖	1 : 1.5～2 の増減
微増減	↗	↙	1 : 1.1～1.5 の増減
横ばい	➡		ほとんど増減なし

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況(定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
伝染性紅斑	2	1	—	警報発令中(R7.5.22発令)	0.29	0.80	1.20	0.00	0.36	0.13	0.86
インフルエンザ	30	10	10	警報発令中(R7.11.27発令)	18.23	43.63	43.11	27.40	43.71	16.17	41.83

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

●急増疾患 なし
●急減疾患 なし

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	4	1	1		3		1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3
四類	2	マラリア	1		1					
		レジオネラ症	1						1	
五類	22	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1	1	
		水痘(入院例)	1					1		
		麻しん	1	1						
		梅毒	2		1					1
		百日咳	15	1	3	1		4		6

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>